

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

シカマのイナカ再生計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県加美郡色麻町

## 3. 地域再生計画の区域

宮城県加美郡色麻町の全域

## 4. 地域再生計画の目標

色麻町は、宮城県のほぼ中央北西部に位置し、人口7,919人（平成17年3月末日現在）、面積109.23km<sup>2</sup>で、雄大な自然や日本の美しい田園の景観、あるいは昔ながらの人情や地域に根ざした生活様式・文化が残る町である。本町では、「イナカの良さ、強さ、美しさを活かしたまちづくり」を基本理念として、色麻の自然、生活、文化を大切にしたまちづくりを進めている。また、併せて地域経済の活性化を図るために企業誘致に取組み、10数社の誘致に成功し、町民の雇用の場の確保に努めてきたところである。

しかし、少子高齢化の進展とともに人口は減少傾向にあり、町の活力が低下しつつある。そこで、人口の減少に歯止めをかけるとともに、他市町村から人を呼び込む対策、すなわち定住化促進対策が重要である。

そのためには、住民が安心して暮らすことのできる生活環境の整備が急務であり、その一環として、下水道整備に取り組んでおり、平成6年度から農業集落排水事業及び公共下水道事業を、平成10年度からは浄化槽の個別排水処理施設整備事業を行っているが、平成16年度末の汚水処理人口普及率は、28%ほどにしか到達していない状況である。よって、汚水処理施設の整備を一層促進する。

また、地元に残りたくても職が無いためにやむ無く町を出て行くことも人口減少の原因となっているのでその対策として、また、都会に出たもののふるさと色麻に戻ってきたい人、あるいは都会の生活から脱して色麻に住んでみたいと思っている人を対象に、平成16年7月より町で無料職業紹介所を開設し職業の斡旋を行い、雇用の確保に努めているところであり、尚一層の充実を図る。また、当該都会からの移住者向けに公営住宅の整備を行う。

上記各事業を実施することにより、町の活力を取り戻し、「イナカの良さ、強さ、美しさを活かしたまちづくり」の実現を目指す。

(目標1) 汚水処理施設の整備の促進(汚水処理人口普及率を28%から40%に向上)

(目標2) 職業紹介による雇用の確保(職業紹介所による就職者数 30名)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

町内の王城寺地区周辺等の公共下水道を整備するとともに、既設の公共下水道及び農業集落排水実施地区を除いた地域について、浄化槽の整備を行う。

### 5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

#### 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

##### [事業主体]

- ・いずれも色麻町

##### [施設の種類]

- ・公共下水道、浄化槽

##### [事業区域]

- ・公共下水道 色麻町王城寺地区ほか
- ・浄化槽 町内全域（公共下水道対象区域を除く）

##### [事業期間]

- ・公共下水道 平成17年度～20年度
- ・浄化槽 平成17年度～20年度

##### [事業量]

- ・公共下水道 管渠 L = 6,700m  
処理場 OD1池
- ・浄化槽（市町村設置型） 120基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道は、王城寺地区ほかで560人、浄化槽は、520人

##### [事業費]

- ・公共下水道 840,750千円  
(うち、単独 75,000千円)  
(うち、国費397,875千円)
- ・浄化槽（市町村設置型） 118,632千円  
(うち、国費 39,544千円)
- 合計 959,382千円  
(うち、国費437,419千円)

### 5-3 その他の事業

当町への居住希望者に対し、無料職業紹介所を開設し職業の斡旋を行う。  
また、当該希望者向けに公営住宅の整備を行う。

## 6. 計画期間

平成17年度～20年度（4ヶ年）

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表するとともに、関係行政機関と地元住民からなる「評価委員会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし